

小・中学校、高校12年間皆勤
井上春佳さん(尾瀬高校卒業)
3月1日(金)

尾瀬高校で卒業式が行われ、井上春佳さんが小・中学校、高校の12年間の皆勤を達成しました。井上さんは「あつという間の12年間でした。素晴らしい友達や先生に恵まれ、毎日楽しく充実した学校生活を送りました。皆さんに感謝したい」と話してくれました。



ふるさとへの思いを作品に
おのちゅうこうふるさと文学賞表彰式
3月2日(土)

第9回おのちゅうこうふるさと文学賞には、作文と詩で合計922編が寄せられました。表彰式では表彰とともに、最優秀賞、優秀賞を受賞した4人の作品朗読が行われ、表彰式後には、平出歌舞伎保存会(平出子ども歌舞伎)による記念公演が行われました。

熱意と努力に支えられ40年
沼田市スポーツ少年団創設40周年記念式典
3月9日(土)

利根沼田文化会館で沼田市スポーツ少年団創設40周年記念式典が行われ、功労者・優秀団表彰や代表団員による意見発表が行われました。また、UNSエアロビックによる演技と空手道沼田南・沼田北・沼田東による演武が披露され、会場を盛り上げました。



沼田の福祉のために
薄根小学校・薄根中学校車イス寄贈式
3月5日(火)

薄根小学校と薄根中学校の生徒・児童が社会福祉協議会に車イス3台を寄贈しました。両校は空き缶回収などの収益金を利用し、毎年、介護用品や福祉用具を寄付してくださっています。寄贈された車イスは高齢者や体が不自由な人のために役立てられます。

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

YOROZU
よろずとーく 73
TALK

Jリーグ
鹿島アントラーズユース入団選手
田中 稔也くん
(薄根町)
Toshiya Tanaka

「シュートとアシストが決まり、自分でもセレクションの緊張によく耐えたと思います」
昨年の夏、難関であるJリーグ鹿島アントラーズユースのセレクションに見事合格した田中くん。4月から鹿島学園高校へ通学しながら、プロサッカー選手を目指す。
「小学2年生の時、沼田サッカークラブに入団してから、将来の夢は、ずっと日本代表になってワールドカップ出場でした。確か学校の文集にもそう書きました。とにかく週2回の練習が楽しくて仕方なかったですね。茂木修監督には技術や礼儀、特に人への感謝の気持ちを教えて



攻撃を得意とするMF田中選手

もらったのをよく覚えています」
中学校では、昭和村にある千年の森スポーツセンターJ-Wingsを活動拠点とするFC KRILO(クリロ)に所属し、青山拓監督らの指導を受けた。
「技術に加えて、チームワークの大切さを学びました。試合であきらめた事は一度もないです。点差があっても、まずは1点取ることに集中しました。昨年の秋、高円宮杯決勝トーナメントで強豪サスパ草津と対戦した時は、チーム一丸となり勝利でき、本当に嬉しかったです」
今春、夢の第一歩を踏み出す田中くん。今後の抱負を聞いた。
「両親へ恩返しするためにも、まずはユースでレギュラーをとり、クラブ選手権で日本一になりたいです。夢は、やはり日本代表、ワールドカップ出場です」

夢はサッカー日本代表になり、ワールドカップに出場することです



沼田の未来を拓く

われら いっしょいっしょ サークル 234

扇映会 (会員数15人)

代表者 **小林 映子**さん
(連絡先 ☎ 231614)



扇映会は、地域交流や健康づくりのため、昭和62年6月に発足しました。一人一人の個性を大切に古典舞踊から新舞踊まで、詩文の情景を大切にしながら幅広い舞踊を演じています。気の合う仲間と和を大切に、楽しく健康に活動しています。また、チャリティー発表会や社会福祉施設への定期慰問などボランティア活動を行えることも大きな魅力です。普段は、郷土芸能祭や発表会などに向けて中央公民館や坊新田町公民館で日々練習に励んでいます。